ぜんそんはく
全村博だより
第103号

～全村博物館構想とは～
村全体を屋根のない博物館とみなし、そこにある歴史や自然、文化、生活を博物館にあるような価値あるものと考え、大事にしていこうという取り組みです。

【発行・問合せ】
阿智村役場　協働活動推進課
全村博物館構想事務局
TEL / FAX 0265-48-0556
E-mail info@achilabo.com

熊谷元一写真シンポジウム
『未来へつなぐ 地域の記録と記憶』

熊谷元一写真のユネスコ『世界の記憶』登録申請に向け、2回目となるシンポジウムが9月5日(土)に開催されました。地域で写真をどう生かしていくかをテーマに、図書館を事務局に町の中への写真展示に取組む『日野宿発見隊』（東京都日野市）、京都大学の菊地暁先生にご報告いただきました。

日野宿発見隊　石嶋日出男さん・井上博司さん

20年ほど前、「図書館は地域のために何ができる？」との問題意識から、図書館が地域に呼びかけ、町について考える場をつくりました。古い建物が壊されていく時期だったため、町の宝を残したいと『日野宿発見隊』が発足したそうです。

活動の一環として写真集めに取り組みました。カメラメーカーがあったため多くの写真が残っており、聞き取りも行いながら写真を整理しました。石嶋さんは取り組みを通じて「町の宝は、住んでいる人の生活そのものとの認識ができていった」と話されました。

集めた写真は町の中にパネルとして展示しました。カメラマンの井上さんは、町の中に写真を展示する意義について「町の中に異物を入れる。見た人がどう反応するのかがおもしろさ」と話しました。また実際に阿智村に来て村内を見てまわった感想として「阿智村には他の町にはない宝物（元一写真）がある。昼神温泉にたくさんの人が訪れるのに、村の中に写真を展示しないのはもったいない。朝市に写真を展示するだけでも違うと思う。駒場の町への展示もおもしろい」と述べました。

菊池暁 先生（京都大学）

写真を整理保存する様々な実例を紹介し、「写真の背景が大事。何が写っているかがわかっていることが重要」と話されました。



最後は報告者に阿智村長を加えたトークを行いました。進行の矢野敬一さんは「元一先生はいつも“おもしろそうだからやった”と話していた。おもしろいと思うことをどんどんやっていくと良いのでは」と締めくくりました。

開催します！

クリスマス こまんばマルシェ



12月6日(日)、『クリスマス こまんばマルシェ』を開催します。キッチンカーや雑貨、体験ワークショップなどが出店します。また古物などを売る『古物市』も同時開催する予定です。



※昨年の様子

日時：12月6日(日) 午前10時～午後2時30分
場所：旧駒場商店街、古民家つぼや 他
駐車場：駒場区自治会館 他
☆詳細は随時HP、SNS等にアップします

開催します！

第29回 熊谷元一写真賞コンクール 入賞作品展

第29回『熊谷元一写真賞コンクール』の審査会が行われ、受賞作品が決定しました。熊谷元一写真童画館で受賞作品を展示します。



※昨年の様子

展示期間：10月28日(水)～12月28日(月)
場所：熊谷元一写真童画館
開館時間：午前9時30分～午後4時30分
休館日：火曜（祝日の場合、翌日休館）
入場料：無料

シルバーウィーク・藍のこすり染め体験

9月19日(土)～22日(火)、古民家つぼやに約80名が来館しました。また期間限定イベントも開催しました。

【藍のこすり染め体験🍃】

つぼやの庭で育てた藍の葉を摘んで布の上に置き、こすって布に色を移しオリジナルバッグや巾着を作りました。葉を並べてマークを作ったり、文字の型紙を作り名前を入れる方もいました。





【ピザづくり体験🍕】

地元産の野菜や伍和産シナノドルチェを使い、生地から作りピザ窯で焼きました。

8/29 大口町自然体験教室

8月29日(土)に愛知県大口町の親子39名を受け入れ、自然生活学舎キャンプサイト『ななつぼし』と竹林応援団阿智の櫻井徹さん協力のもと、親子自然体験教室を開催しました。今回はネイチャービンゴや竹筒ごはん・竹水鉄砲作りを行いました。

櫻井さんに、ご飯を炊く竹の容器を用意していただき、参加者で竹筒に米を入れて火で炊きました。また櫻井さんの解説を聞きながら竹水鉄砲を作り、的当てで遊びました。竹の利活用について学ぶとともに里山体験ができ、笑顔があふれる体験となりました。



9/26 一日限定カフェ byトリノキ

9月26日(土)、古民家つぼやにて移住者の『トリノキ』さんによって一日限定カフェが開催されました。雨の中、約40組が訪れました。

フォカッチャサンドやケーキ、コーヒーなどが提供されました。特に自家製フレッシュチーズを生かしたメニューに力を入れており、お客さんは「どうやって作っているの？」と質問しトリノキさんとの交流していました。



トリノキさんは「地元の方々がたくさん来てくれて、地域のみなさんの温かさを感じた」と話していました。



伍和歴史の会プレゼンツ

9/26 米づくり体験【稲刈り】

9月26日(土)、米づくりの体験第4回目として稲刈りを実施しました。あいにくの雨でしたが、カッパを着てドロドロになりながらも懸命に手刈り・はざかけを行いました。

午後は稲一本の穂に付いている米つぶの数を数えました。例年よりも数が多く、講師の西井さんは「草取りなど地道な作業を行った結果」と評価しました。



【最終回】脱穀と「いただきます収穫祭」
日程：10月24日(土)
☆詳細は全村博HPをご確認ください

この言葉知っとる？　第3回

動物や植物の呼び方にも方言があります。今回は田んぼの生き物を紹介します。聞いたこと、そしてそもそも見たことがありますか？？

今月の方言　「田んぼの生き物」

・ひくた	ヒキガエル
・あをな	アオダイショウ
・つぼ	タニシ
・むぎわらきんぎょ	ホウネンエビ

約２ｃｍ



むぎわらきんぎょは、初夏に田んぼで発生します。

【協力隊日記🖊】　清内路の手作り花火展

南信州地域振興局との共同企画『清内路の手づくり花火展』を9月中旬から一カ月、古民家つぼやで実施しました。祭りが開催される秋に合わせて魅力を発信しようという取り組みです。火薬や仕掛けの作り方の解説やボロボロになった法被、実際に使われた大三国の筒等を展示しました。

花火や担い手たちの心意気に触れ、祭りを見に訪れていただけたら嬉しいーという気持ちを抱き、展示を担当しました。（地域おこし協力隊：大岩）



阿智村　あちラボ

YouTube

＃全村博
＃だけじゃない阿智